

令和4年度
第1回地域福祉部会
(芽室町総合保健医療福祉協議会)
会議記録

日時 令和4年8月25日(木)

午後6時26分～午後6時52分

場所 芽室町保健福祉センター 2階憩いのサロン

健康福祉課社会福祉係

○ 会議次第

- 1 開会
- 2 部会長の選出について
- 3 部会長挨拶
- 4 確認事項
(1)地域福祉計画について
- 5 議題 協議事項
(1)第5期地域福祉計画の策定方針について
(2)第5期地域福祉計画の施策の体系イメージについて
- 6 閉会

○ 出席委員 5人

鈴木 昇
古川 誠
小椋 孝雄
白銀 孝志
若狭 富美子
矢野 征男

○欠席委員 2人

宇野 克彦
前田 尚宏

○ 傍聴人 0人

○ 事務局

健康福祉課長 大野 邦彦
社会福祉係長 上寫 寛
社会福祉係主査 角 諭志
社会福祉係主任 太田 康晴

午後6時26分 開会

1 開会 司会:角社会福祉係主査

2 部会長選出

委員互選により、鈴木昇委員に決定する。

2 鈴木部会長あいさつ

3 確認事項

(1)地域福祉計画について 資料1

厚生労働省作成した市町村地域福祉計画策定ガイドラインから抜粋した資料の説明。

4 協議事項

(1)第5期地域福祉計画の策定方針について 資料2

事務局から説明し、その後に質疑等を受ける。説明事項は、第4期芽室町地域福祉計画の策定の背景として、令和7年の高齢者割合を念頭に、社会保障制度や公的福祉事業、介護保険への期待が難しくなること。それに対応した「地域共生社会の実現」、「重層的支援体制整備体制の検討」に向けた方針案を説明。

(2)第5期地域福祉計画の施策の体系イメージについて 資料3

事務局から、第4期計画との変更箇所について説明。

質疑応答

矢野委員

次期計画期間内で少子高齢化がさらに進み地域住民のつながりが少なくなってきたものの、ここ3年間で新型コロナの感染状況が深刻化している。老人会や農業者の集まりも人が極端に少ない。地域の会合もあまりなくなってきた。この背景をどのようにとらえるのか。今までとは違った角度で計画案を検討していく必要がある。

事務局(大野課長)

3年前の「高齢者保健福祉計画」の改定中にコロナが流行りだしたが、高齢者保健福祉計画の中でも「外出する機会を確保する」ことが重要としている。地域福祉計画とも連動しており、地域コミュニティの中で、例として芽室町社協が行う地域交流サロン事業では、高齢者に加え、障がい者、ひとり親家庭も参加することで地域共生の町づくりを実施している。そのような事業により地域コミュニティを推進していくことも意識して計画に盛り込んでいく必要があると考えている。

5 閉会

午後6時52分 閉会